

柱1 みんなで守り寄り添う共生のまちづくり

ネットワーク構築による包括的相談支援や権利擁護体制、情報提供の充実を図り、誰もが互いに人格と個性を尊重し、支え合える共生のまちづくりを目指します。

施策 1 取組 1 相談支援・マネジメント体制の充実

目指す姿 身近な場所で気軽に相談できる体制の充実

【主な事業】 障害者相談支援・コーディネート事業

…地域で身近な相談窓口を確保するために、委託相談支援事業所の増加及び地域生活支援拠点機能の付加などを推進し、多様なニーズに対応。

事業の結果	■相談支援件数（件/年）			
	R2	R3	R4	R5
	14,726	15,694	21,378	22,934
事業の方向性：維持（現状規模のまま）				

※SV（スーパービジョン）とは、経験のある支援者がその他の支援者の専門性を高め、より良い援助を行えるよう、知識や技術、価値や倫理を提供し、フィードバックや評価を行うこと。GSV（グループスーパービジョン）とは、支援者のグループに対して、経験のある支援者がSVを行うこと。

◆評価：○
相談件数は年々増加傾向にあり、R3と比較すると46%増。委託相談支援事業者連携会議では地域生活コーディネーターのスキルアップを目的としてGSV(※)研修を実施。今後は、今年度から2か所に増えた基幹相談支援センターを中心に地域の相談支援事業所に対するSV(※)機能を発揮し、相談機能の強化を目指す。具体的な事例検証の場も必要。

重点 【主な事業】 地域生活支援拠点運営協議会の開催 ※事業内容や評価等は柱2に掲載

【主な事業】 柏市自立支援協議会相談支援部会の運営支援

…柏市における相談支援体制のあり方を協議し、指定相談支援事業所のスキルアップを図る場である相談支援部会の運営を支援する。

◆評価：○ Zoomの活用により参加しやすい環境とし、地域の相談支援体制における課題の検討等、協議を重ねた。今後は地域の現状を把握・分析して課題を明確化し、課題解決に向けた協議を進めていく。

取組 2 福祉の総合相談窓口の設置

目指す姿 「断らない」相談窓口の設置

【主な事業】 教育福祉会館のリニューアルに伴う総合相談支援事業
包括的支援体制の構築事業

…従来の枠組みでは支援が届かない障害者等を支援するため、各専門機関と行政の窓口が連携した「福祉の総合相談窓口」を設置し、包括的な相談支援体制を推進。

事業の結果	■福祉の総合相談窓口での相談件数(件/年)			
	R2	R3	R4	R5
	517 (R3.1～3)	1,711	2,074	2,225
事業の方向性：拡大（増加させたい）				

◆評価：○
重層的支援の入口として、関係機関が連携した支援を実施、支援終結に至った相談もあり。今後は総合相談窓口としてのコーディネート能力向上や、各専門相談支援機関の特徴を生かした役割分担と連携強化を図る。

施策2

権利擁護体制の充実

- 目指す姿
- ・ 成年後見制度等の利用促進により、障害者の権利を守る
 - ・ 障害者虐待の防止・早期発見に向けた体制の充実
 - ・ 障害を理由とする差別のない社会

【主な事業】成年後見一次相談窓口の設置

…より多くの方に成年後見制度を利用してもらうため、地域生活支援拠点及び地域包括支援センターが地域の身近な相談窓口として相談対応を実施する。

事業の結果

■（福祉計画）

成年後見制度利用支援事業（人/年）

R2	R3	R4	R5
22	22	26	23

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

◆評価：○

中核機関設置や一次相談窓口運用、報酬費制度に係る規則見直し等により、より利用しやすい環境を実現。さらなる利用者拡大のため、制度の入口となる一次相談窓口の周知徹底を図る。

【主な事業】柏市における権利擁護を支援する体制の構築

…虐待や権利擁護に対応する関係機関等と課題共有し、問題解決に向けた対応を強化。

評価等

◆評価：○

各機関の連携のために柏市権利擁護ネットワーク会議（全体会）を立ち上げ、年1回実施した。今後は、ネットワーク会議で共有した現状や取組を踏まえ、連携機関の個別対応力の維持・向上を図る。

【主な事業】障害者差別解消支援地域協議会の開催

…協議会の開催により関係機関の連携を強化し、改善策の検討を行う。

評価等

◆評価：△

R5は他会議との兼ね合いで年2回の実施となったが、啓発用グッズを作成し、市内での配布活動を実施した。また、障害者差別解消法改正により、庁内向けに柏市職員対応要領を改めて周知した。法改正で民間企業でも合理的配慮が義務化されるため、民間企業との連携を検討・企画していく。

施策3

情報提供の充実

- 目指す姿
- ・ 必要な情報をわかりやすく適切に提供
 - ・ コミュニケーションに必要な支援を受けられる状態

【主な事業】「障害福祉のしおり」の発行

…障害福祉関連の制度やサービスについてまとめた冊子を作成し、主に手帳交付時に内容の説明及び配布を行う。

評価等

◆評価：○

R5は例年から3割増となる4,400冊を発行。R3にレイアウトを見直したところだが、さらなる情報提供の充実を図るため、他市の事例も参考にしながら、よりわかりやすい紙面構成等を検討する。

【主な事業】手話通訳者・要約筆記者の派遣

…意思疎通を図ることに支障がある方に、通院や行政機関手続き時等に、手話通訳者等の派遣を行う。

事業の結果

■（福祉計画）派遣件数（人/年）

区分	R2	R3	R4	R5
手話通訳	447	518	520	641
要約筆記	18	50	85	78

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

◆評価：○

手話通訳者派遣はコロナの影響で減少した件数が回復してきた。要約筆記者派遣は当事者団体の活動において派遣申請が増加。今後は必要な人が自分に合うものを選択できるよう、同派遣制度も含めた幅広い意思疎通支援の周知が必要。

柱2 みんなで支え安心して暮らせる共生のまちづくり

暮らしを支える基盤整備やサービスの充実、バリアフリー化や災害・感染症等の緊急時対応を図り、誰もが安心して暮らせる共生のまちづくりを目指します。

施策1 取組1 地域生活を支える場の充実

目指す姿 地域生活支援拠点と連携した地域ネットワークの充実

【主な事業】地域生活支援拠点運営協議会の開催
…地域生活支援拠点の事業内容や地域づくりについて協議し、円滑かつ適正な推進について検討する。

事業の結果

■地域生活支援拠点運営協議会の開催回数(回)

R2	R3	R4	R5
1	2	2	2

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

◆評価：○
拠点機能の評価とあわせて、拠点機能の課題や地域課題について協議を行った。今後は緊急・困難案件の振り返り・検証を行うとともに、地域移行推進のために体験の場を提供する機能の検討・活用が必要。

結果の評価・課題

【主な事業】包括的相談体制構築に向けた会議の開催
…複雑・複合化する相談の支援方針を多機関と協働で策定し、支援していくとともに、地域課題の抽出や社会資源の不足等の協議をととして連携体制強化を目指していく。

評価等

◆評価：○
重層的支援会議において個別ケースの支援方針を決定した。また、市内専門相談支援機関を一堂に集め、取組報告や連携強化に向けた顔合わせを行った。今後は個別ケース支援とあわせて支援者支援を目指すとともに、各会議体がそれぞれの役割を果たせるような体制を整備する。

(参考) 会議体ごとに想定する役割

支援会議	重層的支援会議		
支援会議	小会議	中会議	大会議
専門機関同士の情報共有	個別ケースについて支援策の協議	地域課題の受止め、支援策の協議	市域全体の福祉トピックの協議

重点

取組2 高齢障害・重度障害に対応した居住環境の整備

目指す姿 高齢障害者・重度障害者等に対応した基盤整備

【主な事業】柏市立青和園の整備事業
…柏市立青和園を民営化することで施設のバリアフリー化、高齢化・重度化に対応できる施設の整備を行う。

評価等

◆評価：○
R4から指定管理制度から民営化へ移行し、R5から国庫補助金を活用して新設整備を開始した。青和園を好事例として、市内のニーズ調査や施設の在り方を検討し、今後の施設整備計画を立てていく必要がある。

【主な事業】共生型サービスの整備
…介護保険及び障害福祉両方のサービスを受けることができる共生型サービス事業所の整備について検討・推進する。

評価等

◆評価：△
青和園の新設整備により共生型通所が可能となる一方、既存の事業所に案内している施設改造補助金の活用は実現に至っていない。今後は施設改造補助金の見直しも視野に入れ、共生型施設整備を促進できるよう、財政的支援方法を検討する必要がある。

目指す姿 サービスの充実を図り、個々のニーズに対応した社会参加や自立を支援・促進

【主な事業】ホームヘルパー（居宅介護・重度訪問介護）及び訪問入浴サービス
…障害者が自立した生活を送れるようにするため、自宅での介護等を行う。

事業の結果

■（福祉計画）サービス利用者数（人/月）

区分	R2	R3	R4	R5
居宅介護	462	479	510	518
重度訪問介護	28	28	34	37
訪問入浴サービス	32	23	31	36

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

R3～R5において、概ね障害福祉計画の見込値と同等の増加となっている。引き続きサービスが必要な方に対して、適切な支給量の決定を行い、利用実績の確認を行っていく。

【主な事業】ガイドヘルパー（移動支援・同行援護・行動援護）による支援

…移動・外出に必要な支援を実施することにより、地域における自立生活と社会参加を促進する。

事業の結果

■（福祉計画）サービス利用者数（人/月）

区分	R2	R3	R4	R5
移動支援	287	304	349	397
同行援護	72	71	73	83
行動援護	11	16	15	17

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

R3～R5において、概ね障害福祉計画の見込値と同等の増加となっている。引き続きサービスが必要な方に対して、適切な支給量の決定を行い、利用実績の確認を行っていく。

【主な事業】福祉タクシー料金助成事業

…タクシー乗車に際し初乗料金を助成することにより、外出時の負担軽減を図る。

事業の結果

■福祉タクシー助成券発行人数（人/年）

R2	R3	R4	R5
2,675	2,875	2,811	2,707

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

R3～R5で発行人数は減少したが、利用実績は横ばいとなった。移動困難な方への支援として、適切な支給決定を行い、実績確認を行っていく。

【主な事業】日中活動系サービス（生活介護・療養介護・自立訓練）の提供

…障害の特性に応じ、多様な日中活動系のサービスを提供する。

事業の結果

■（福祉計画）サービス利用者数（人/月）

区分	R2	R3	R4	R5
生活介護	619	645	673	696
療養介護	28	29	30	29
自立訓練(機能訓練)	0	0	1	1
自立訓練(生活訓練)	10	16	27	25

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

R3～R5において、概ね障害福祉計画の見込値と同等の増加となっている。引き続きサービスが必要な方に対して、適切な支給量の決定を行い、利用実績の確認を行っていく。

【主な事業】 柏市防災福祉K-Net

…避難支援が必要な方を、平時から地域の方に知ってもらうとともに、災害が発生した際に、地域の方の協力により安否確認や避難支援をしてもらう。

実施の結果

■避難行動要支援者名簿受領町会数（町会）

R2	R3	R4	R5
257	257	257	261

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

アンケート調査の結果からは支援体制の構築状況に向上が見られた。また、説明動画をHPで配信し、制度の周知に努めた。今後は名簿の登録内容が実情と合わなくなっているとの指摘もあり、登録情報の確認・変更申請により、情報の更新が必要。

【主な事業】 ヘルプマーク・ヘルプカードの配布

…外見からは分かりにくい障害をお持ちの方等が援助や配慮を得やすくするための「ヘルプカード」及び「ヘルプマーク」を配布する。

事業の結果

■ヘルプカード・マーク配布数（枚・個）

区分	R2	R3	R4	R5
カード	755	1,313	1,326	1,870
マーク	1,475	1,502	2,166	2,109

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

◆評価：○

R3～R5で配布数は増加している。近隣センターを始め、市内での配布箇所は多いが、外出困難な方のために、郵送での配布も行っていることを引き続き周知していく。

【主な事業】 感染防護用の物資の備蓄

…感染症拡大防止のため、障害者や事業者の感染防護に必要な衛生資材を備蓄。

評価等

- ◆評価：－ 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、指標管理を終了。今後は新型コロナウイルスに限定しない感染症対策等、各事業所で必要な対応がとれるような支援を検討していく。
なお、今年度から策定が義務付けられるBCP(※)については、R3に策定支援を実施し、今年度以降、実地指導等で策定状況を確認していく。

※BCP（業務継続計画）とは、介護や障害者施設・事業所において、災害や感染症などが発生した場合であっても、利用者に対して必要なサービスの安定的・継続的な提供を維持していくための計画のこと。

【主な事業】 「福祉のまちづくり」基準の適合指導

…千葉県福祉のまちづくり条例に基づく届出書の受理にあたり、届出者等に対して整備項目基準をより多く満たすように促す。

評価等

- ◆評価：○ R5の指導書発行割合は72.2%（発行26件/届出36件）で、R3～R5で発行割合の増減はあったものの、概ね例年並みの実績となった。引き続き、千葉県福祉のまちづくり条例の整備項目基準をより多く満たしていくように指導していく。

柱3 みんながその人らしく社会参加できる共生のまちづくり

障害者の就労や社会参加を推進するための支援強化や拠点の整備、共生意識の醸成により、誰もがその人らしく生き生きと社会参加できる共生のまちづくりを目指します。

施策1

取組1 就労支援体制の充実

目指す姿 就労支援機関や雇用関連機関等との連携による障害者雇用の促進

【主な事業】障害者就業・生活支援センター等との連携による就労相談事業

…障害者就業・生活支援センター等で実施する就労相談や就職活動支援を通じて、障害者の働きたいというニーズに応える。

事業の結果

■障害者就業・生活支援センター登録者数(人)

R2	R3	R4	R5
887	920	975	1,017

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

登録者数は増加傾向にあり、就労に関する意識や就労支援のニーズが高まっている。障害特性を踏まえた環境づくりのため、企業における理解促進に向けた取組が今後の課題。

重点

施策2

取組1 多様な社会参加・交流の場の拡充

目指す姿 ・さまざまな方が社会参加できる機会を創出
・障害者団体の自主的な活動支援や居場所づくり

【主な事業】障害者等社会参加・就労支援事業

…障害者等の個々の状態や適性に応じた就労支援及び社会参加ができるよう、自立訓練等を実施する。

評価等

◆評価：○

R5の新規利用者（54人）は昨年度から減少したが、継続利用者も含めると実利用者数は増加しており、他機関との連携を図ることでアウトリーチの実績も少しずつ増加している。今後は長期的な支援のために体制強化や支援スキルの高い支援者が求められる。

【主な事業】障害者等社会参加コーディネート事業

…障害者の居場所づくりや工賃向上を通じ、障害者等が社会参加できる機会を創出。

評価等

◆評価：○

ワークショップや代行販売などが関係団体等と連携しながら企画立案され、障害理解や社会参加の促進に寄与。イベント回数や利用者が増加する中、改めて課題やニーズを把握し、今後の方向性の確認が必要。

【主な事業】福祉喫茶コーナーの運営

…障害理解促進及び障害者の就労の場を確保するために、教育福祉会館内で障害者が働くカフェを運営する。

評価等

◆評価：○

認知度の向上に伴い、一定の利用者が見られ（R5：1,599人/月平均）、就労する障害者も一定程度見られるが、市民と障害者の交流の場としての役割が十分ではない。今後は障害者との交流機会を増やすとともに、売り上げ向上のため、販売促進の工夫が必要。

【主な事業】障害者活動センター運営事業

…障害者団体の自主的な活動や障害者等の状況に応じたゆるやかな居場所づくりを進める。

評価等

◆評価：○

稼働率は50%前後で推移している。また、R5からは登録団体によるミーティングも開始し、団体間の交流が生まれている。今後は未使用の時間帯の活用や、居場所づくりにつながるような工夫が必要。

重点

目指す姿 障害への理解を深めるための啓発・交流，福祉教育の充実により
共生意識を醸成

【主な事業】 障害理解・啓発イベントの実施

…障害理解を促進するイベントを実施するとともに，関係団体等の行うイベントを積極的に後援する。

事業の結果

■（福祉計画）障害理解イベントの実施（有無）

R2	R3	R4	R5
無	有	有	有

事業の方向性：維持（イベント継続）

結果の評価・課題

◆評価：○

12月の障害者週間にあわせ，障害者活動センター登録団体やページブルと協働して，障害理解・啓発イベントを実施。今後は効果的・効率的に共生意識の醸成を図るイベントの計画・運営の仕方を検討する必要がある。

【主な事業】 障害者支援ボランティア養成講座の開催

…講座を通じて障害があってもなくても分け隔てなく接することができる人を増やす。

評価等

◆評価：○

計画に基づき，年1回講座を実施した。講座受講者数は年々増加し，R5には66人が受講した。受講者が活動をする場合の受け皿の確保や調整が今後の課題となっている。

柱4 みんなが健やかに成長できる共生のまちづくり

ライフステージに応じた切れ目のない支援と課題となっている医療・ケア体制の充実を図り、誰もが健やかに安心して成長できる共生のまちづくりを目指します。

施策1 **目指す姿** 障害の早期発見から健やかな成長のための療育支援の充実

乳幼児期における支援の充実

【主な事業】 幼児健康診査
 …健康診査の場から支援の必要な母子を早期に発見し、適切な支援につなげる。

事業の結果

■ 幼児健康診査受診率（％）				
区分	R2	R3	R4	R5
1歳6か月児	92.8	91.0	94.6	97.6
3歳児	93.5	88.1	93.2	95.3

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○
幼児健診時に全数面談を実施し、健診未受診者にも個別対応するなど、早期発見に努めている。健診受診率の維持向上とともに、面談で早期発見につなげるため、専門職のスキルアップを目指す。

【主な事業】 児童発達支援・医療型児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援の充実
 …官民の療育機関への通所，又は訪問によりさまざまな発達の遅れに合わせた支援を提供し心身の発達を促す。

事業の結果

■（福祉計画）サービス利用者数（人/月）

区分	R2	R3	R4	R5
児童発達支援	409	534	624	679
医療型 児童発達支援	16	25	23	16
居宅訪問型 児童発達支援	0	0	0	0

事業の方向性：拡大（増加させたい）

◆評価：○

入園案内を周知し児童受入れに取り組むとともに、児童発達支援事業所連絡会を活用し、事業所間の連携や情報共有、研修会実施等に取り組んだ。今後は多様化したニーズに対応できるよう、職員の確保とスキルアップが必要。また児童発達支援事業所が増加する中で、児童発達支援センターが中心となって情報共有しながら、スキル向上を図る。

結果の評価・課題

【主な事業】 ライフサポートファイルの活用促進
 …途切れなく適切な支援が受けられるよう，サポートファイルの普及と活用の促進に取り組む。

評価等	◆評価：○ シートの作成・見直しや記入しやすい工夫を行うとともに，児童発達支援事業所への説明・周知を図った。引き続き周知に取り組みながら，こども発達センター利用児への積極的な配付や書き方のサポートが必要。
-----	---

【主な事業】 保育所等訪問支援事業
 …保育園や幼稚園等を訪問し，集団生活に適應できるよう支援を行う。また，訪問先の職員，保護者への助言等を行う。

事業の結果

■（福祉計画）保育所等訪問支援（人/月）

R2	R3	R4	R5
34	54	74	80

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

◆評価：○

支援を希望する児童に積極的な支援を行うとともに、連絡会を開催して情報共有、意見交換を行った。今後は事業所による差異がないよう、ガイドラインや支援方法等を共有し、スキルを高めていくことが必要。

【主な事業】「多様な学びの場」と支援の充実

…障害のある児童生徒が、自立していくプロセスや社会参加の方法について、適切な支援や指導の下で学ぶことができる環境を整備する。

評価等

- ◆評価：○ 就学前児への就学相談の充実とあわせて、市内小中学校の特別支援学級数（R5：206）及び通級指導教室数（R5：18）は増加。適切な就学の場を提供できるようになってきている。今後は、増加する特別支援学級担任の専門性の向上や、各校における「交流及び共同学習」のあり方の理解・啓発を図るとともに、校内就学相談の充実を目指す。

【主な事業】障害に配慮した教育環境の整備

…小中学校の既存施設について、障害のある児童生徒が利用しやすいよう整備を行う。

評価等

- ◆評価：○ 多目的トイレの設置及び増設は概ね計画どおり進捗している。今後、多目的トイレの校舎への増設及び屋内運動場への設置については、柏市立学校施設個別施設計画に基づく長寿命化改良工事等と併せて進める。

【主な事業】特別支援教育に関する研修

…児童生徒一人一人のニーズや特性に応じた教育の充実に向け、研修を実施する。

評価等

- ◆評価：○ 実施回数は年々増加（R5：46回）。各校からの要請を含め、一定のニーズが見られる。今後は研修で終わることなく、研修内容が実行可能となるよう、各校に出向く巡回相談を併用し専門性の向上を目指す。

【主な事業】放課後等デイサービス・地域生活支援事業の充実

…通所により、障害児が生活能力向上のために必要な訓練を行うとともに、社会との交流を促進する。

事業の結果

■（福祉計画）

放課後等デイサービス利用者数（人/月）

R2	R3	R4	R5
717	837	940	1,041

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

- ◆評価：○ R3～R5において、見込値を上回るペースで利用者数が増加している。引き続きサービスが必要な方に対して、適切な支給量の決定を行い、利用実績の確認を行っていく。

目指す姿 医療的ケアを必要とする障害児者や重度の肢体不自由児者とその家族が、地域で安心して暮らせる支援体制を構築

【主な事業】柏市障害児等医療的ケア支援連絡会の開催

…医療的ケアの支援の現場等からの意見や課題を抽出し、対応を検討する。
また、必要に応じてワーキングを実施する。

評価等

- ◆評価：○ ①インクルーシブ教育・保育、②卒業後の地域生活について、ワーキングチームで検討するとともに、課題検討の方向性を明確にするためのロードマップを作成した。また、ニーズ調査を実施し、結果を共有した。今後はロードマップやニーズ調査における課題への対応策を検討する。

【主な事業】喀痰吸引等の特定行為ができるホームヘルパーの育成

評価等

- ◆評価：○ 登録喀痰吸引等事業者数は年々増加（R5：47）。喀痰吸引等研修受講料等の一部を交付する補助制度を利用して、登録喀痰吸引等事業者（登録特定行為事業者）数の更なる増加を目指す。

目指す姿 長期入院中の精神障害者の地域移行・地域定着を支援体制を構築

【主な事業】 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進会議の開催

…精神障害者が地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムを構築し、関係機関との連携による重層的な支援体制を構築。

評価等

◆評価：○ 予定どおり会議を開催して地域課題について協議を重ね、精神科病院の見学やチラシの配布、情報発信ツールの活用、支援者向け研修会、ピアサポート活用等の取組を行った。今後はこころのサポーター養成研修や市民講座、普及啓発活動等により、市民の参画を促進するとともに、地域関係者、関係機関等との協働による取組を推進していく。

【主な事業】 専門職による精神保健福祉に関する相談支援

…市民・家族・関係機関等から専門職（精神保健福祉士・保健師）による精神保健福祉に関する相談に応じ、関係機関と連携した支援を実施している。

評価等

◆評価：○ 電話、面接、訪問の各種相談件数は概ね例年どおりの推移となり、定期的な事例検討の開催、精神科医のスーパーバイズを受けながら、複雑複合化する相談に対応した。今後は精神保健福祉法の改正を受け、市町村において「精神保健に課題を抱える者と家族への相談支援」を実現できる包括的な体制整備を図っていく。

【主な事業】 地域移行支援・地域定着支援の利用促進

…精神障害者の地域移行や地域定着を支えるため、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを実施。

事業の結果

■（福祉計画 R3～の指標）

サービス利用者のうち精神障害者の人数（人/月）

区分	R2	R3	R4	R5
地域移行支援		8	5	5
地域定着支援		2	2	1

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議（実務者会議）において、地域移行を課題の一つとして協議を重ねた。福祉サービスを利用しない地域移行者が多く、制度の活用には課題があるため、制度の利用を促しつつ、福祉サービスを利用しない地域移行の実態を把握することが必要。